

令和3年度「まちかどコメンテーター」

アンケート調査結果

<抜粋版>

鹿児島市

・第2回

- 1 桜島・錦江湾ジオパークについて（世界遺産・ジオパーク推進課）
- 2 食育について（保健政策課）

目 次

I	調査の概要	1
II	桜島・錦江湾ジオパークについて	4
III	食育について	14

I 調査の概要

1. まちかどコメンテーターの概要

(1) まちかどコメンテーターとは

市民の皆様「まちかどコメンテーター」になってもらい、市民目線の意見・提言を聴取するとともに、市民のニーズを把握し、市政運営の参考とさせていただくものです。

また、アンケートを通じて、市民の皆様の市政への関心・興味を深めていただくことも目的としています。

(2) まちかどコメンテーターの選定方法

市内に住むか通勤・通学する 18 歳以上の方を対象とし、一般公募及び住民基本台帳から無作為抽出した市民 2,500 人への就任依頼において、応募・承諾いただいた方により構成しています。

(3) 任期

令和 3 年 7 月 1 日～令和 4 年 6 月 30 日

(4) 人数

328 人（第 2 回調査実施時点）

(5) 所管課

市民局 市民文化部 市民協働課

2. 第2回調査の概要

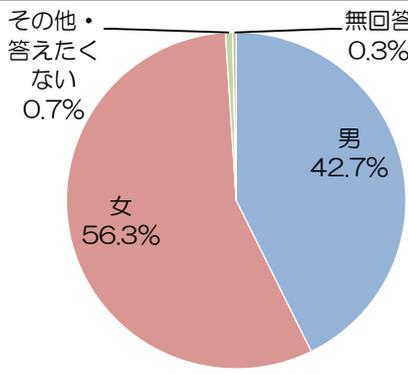
(1) 調査概要

テーマ/担当課	桜島・錦江湾ジオパークについて	世界遺産・ジオパーク推進課
	食育について	保健政策課
調査期間	令和3年8月13日～9月3日	
回答率	89.9% (295人)	

(2) 回答者属性

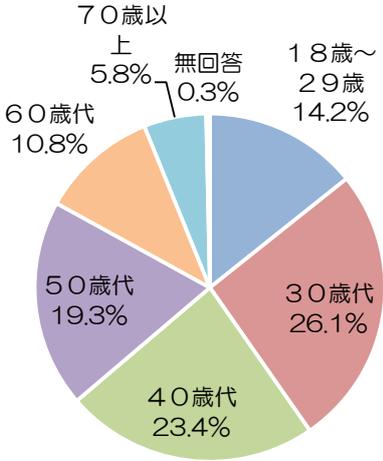
① 性別

選択肢	回答数	割合
男	126	42.7%
女	166	56.3%
その他・答えたくない	2	0.7%
無回答	1	0.3%
サンプル数	295	100.0%

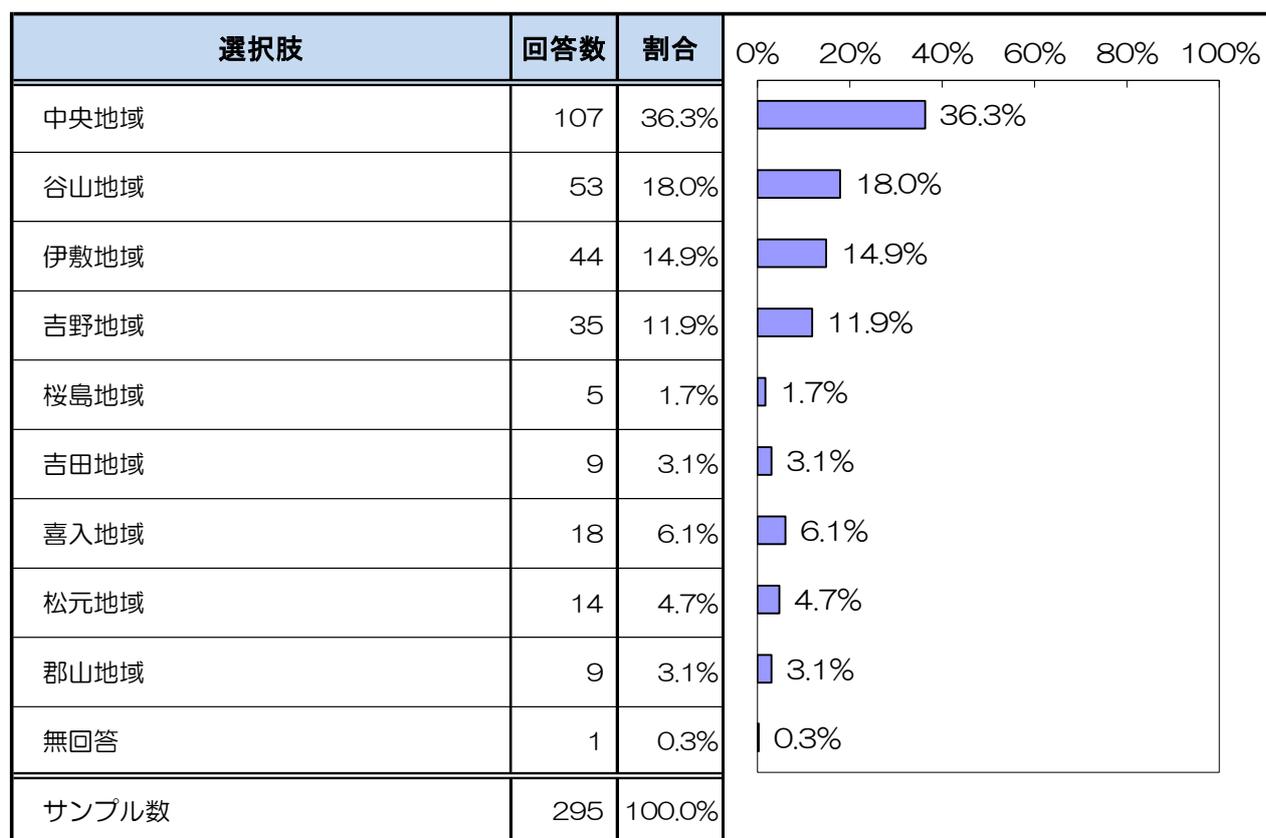


② 年代

選択肢	回答数	割合
18歳～29歳	42	14.2%
30歳代	77	26.1%
40歳代	69	23.4%
50歳代	57	19.3%
60歳代	32	10.8%
70歳以上	17	5.8%
無回答	1	0.3%
サンプル数	295	100.0%



③ 居住地



3. 報告書上の留意点

- ・ 構成比は小数点第2位以下を四捨五入して表示しているため、合計が合わない場合があります。
- ・ 複数回答可の質問の構成比の合計は100%を超えることがあります。
- ・ 設問文や選択肢等の表記において、原文より変更している場合があります。
- ・ 本報告書<抜粋版>においては、その他への具体的回答内容及び自由回答設問の回答内容部分を一部割愛しています。

Ⅱ 桜島・錦江湾ジオパークについて

1. 調査の目的

「ジオ」とは、地球や大地という意味で、「ジオパーク」とは、ツアーや体験プログラム等を通して、地球や大地の素晴らしさを体験できる場所のことです。桜島・錦江湾ジオパークは、平成 25 年に日本ジオパークに認定され、令和 3 年には、鹿児島市全域、始良市、垂水市にエリアが広がりました。貴重な自然資源を保全・保護しながら、観光や地域振興、防災、教育など様々な活動を展開しています。

市民の皆さんに、桜島・錦江湾ジオパークを理解し、活動に参加していただくため、ジオパークの認知度などを把握し、今後の事業推進の参考とするため、アンケートを実施します。

2. 調査結果を受けての担当課（世界遺産・ジオパーク推進課）からのコメント

桜島・錦江湾ジオパークについて、「知っている」方は 60.3%とのことから、多くの方に認知していただいている一方、自由意見回答で回答いただいたとおり、活動内容やジオパークの理念等について、更に市民のみなさまに認知していただくことが課題であることも分かりました。

また、桜島・錦江湾ジオパークに大変興味がある方、少し興味がある方が合わせて 7 割弱いらっしゃる事が分かり、桜島・錦江湾ジオパークで体験したいことや楽しみたいことについてご回答もいただきましたので、今回の調査結果を活用して、取組内容の改善や今後の活動推進に取り組んでまいります。

3. 調査結果

問1 「ジオパーク」という言葉を知っていますか。（単一回答）

「知っている」が 77.6%、「知らない」が 22.4%となっています。



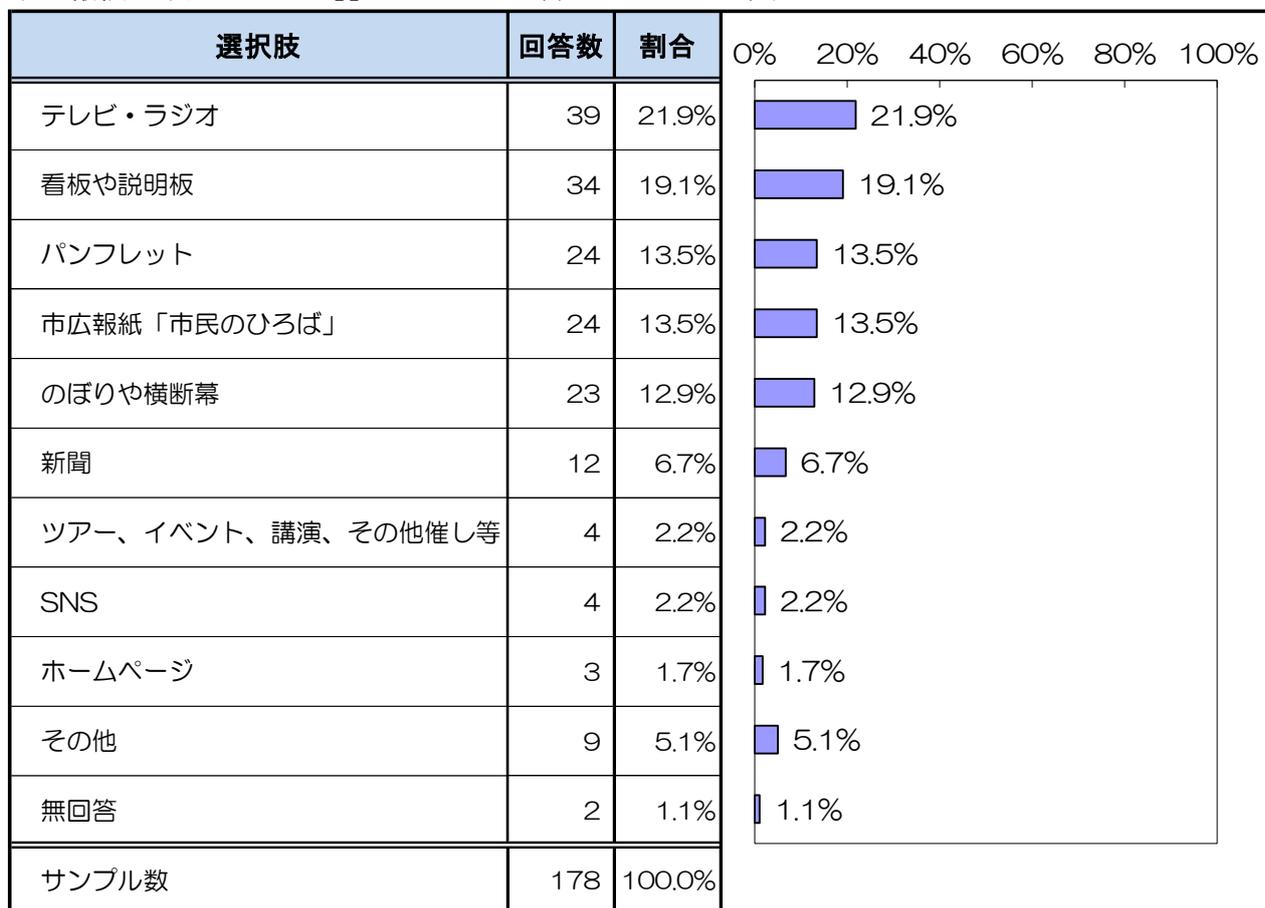
問2 鹿児島に「桜島・錦江湾ジオパーク」があることを知っていますか。
(単一回答)

「知っている」が60.3%、「知らない」が39.7%となっています。



問3 問2で「1. 知っている」を選んだ方にお尋ねします。「桜島・錦江湾ジオパーク」について知ったきっかけは何ですか（単一回答）

「テレビ・ラジオ」が21.9%と最も高く、次いで、「看板や説明板」の19.1%、「パンフレット」「市広報紙「市民のひろば」」の13.5%の順となっています。

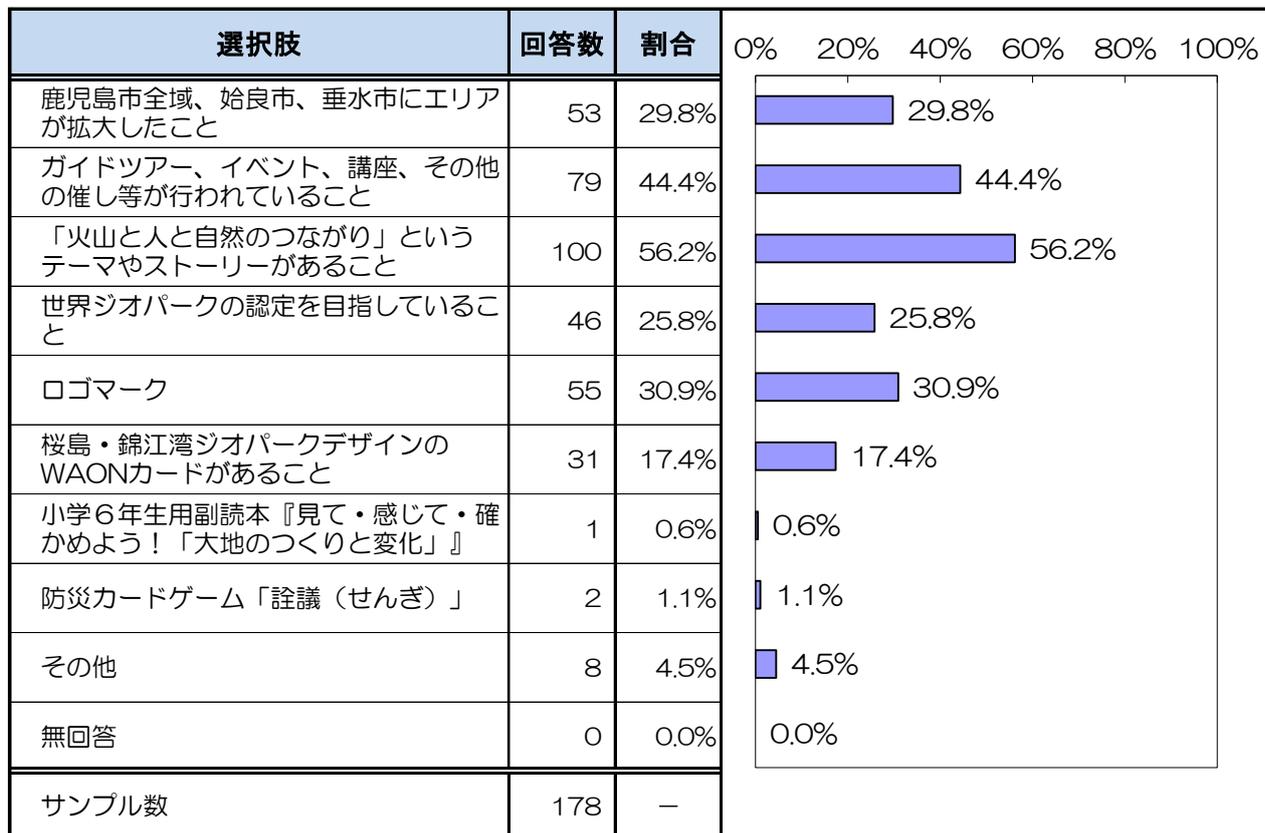


◆その他の回答（一部抜粋・原文まま）

- ・子供の学校で、ジオ学習があり、子供を通して知りました。
- ・桜島に住んでいる知人から、聞いた。

問4 問2で「1. 知っている」を選んだ方にお尋ねします。「桜島・錦江湾ジオパーク」についてどんなことを知っていますか。(複数回答)

「火山と人と自然のつながり」というテーマやストーリーがあること」が56.2%と最も高く、次いで、「ガイドツアー、イベント、講座、その他の催し等が行われていること」の44.4%、「ロゴマーク」の30.9%の順となっています。

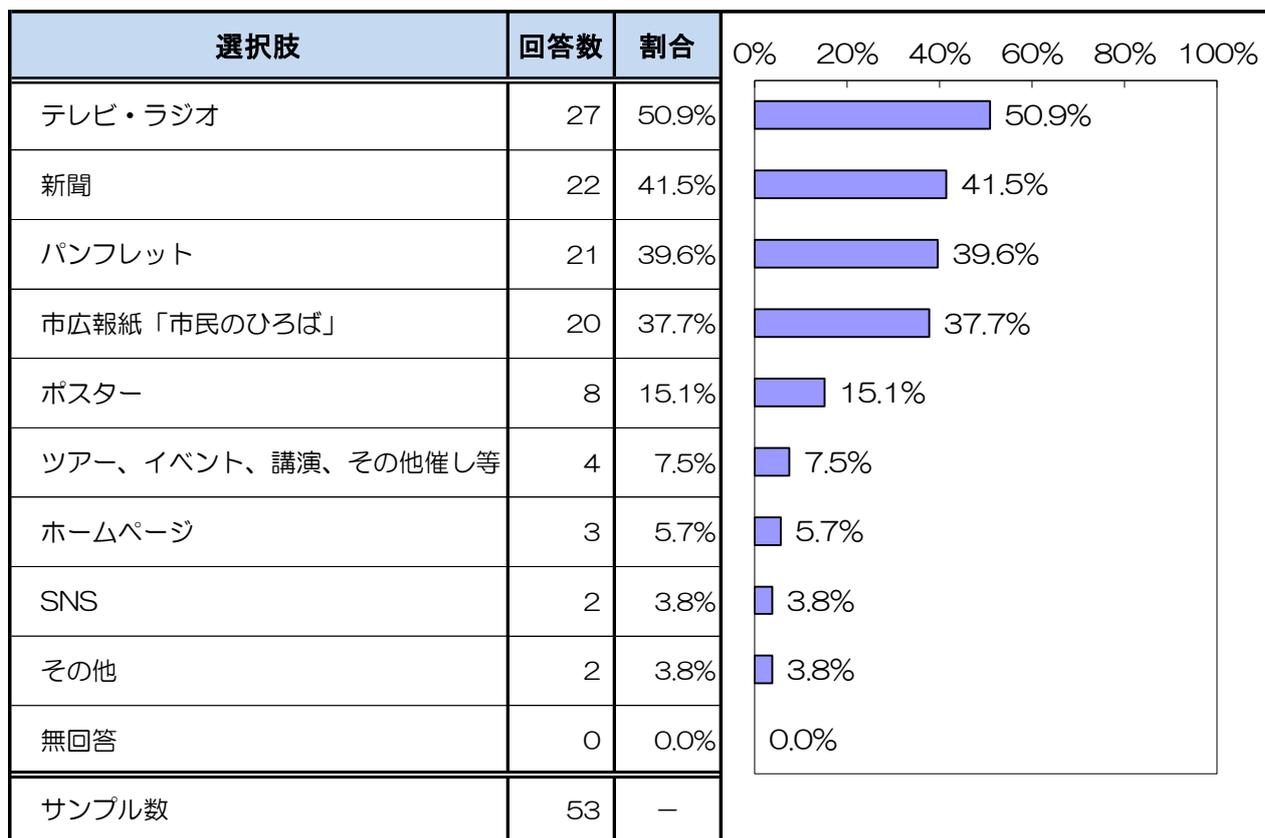


◆その他の回答（一部抜粋・原文まま）

- ・寺山公園を訪れて、その風景で「ジオ」を感じ、調べた。
- ・ジオパークという言葉は聞いたことはありましたが、具体的なことは知らないです。

問5 問4で「1. 鹿児島市全域、姶良市、垂水市にエリアが拡大したこと」を選んだ方にお尋ねします。エリア拡大について知ったきっかけは何ですか。(複数回答)

「テレビ・ラジオ」が 50.9%と最も高く、次いで、「新聞」の 41.5%、「パンフレット」の 39.6%の順となっています。

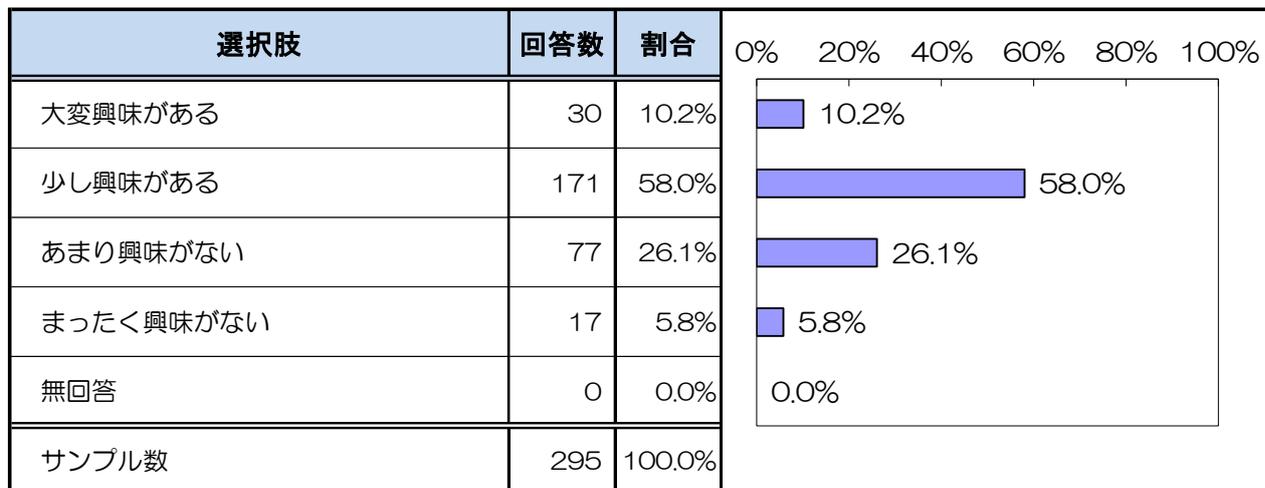


◆その他の回答（一部抜粋・原文まま）

- ・ネット検索

問6 「桜島・錦江湾ジオパーク」に興味はありますか。(単一回答)

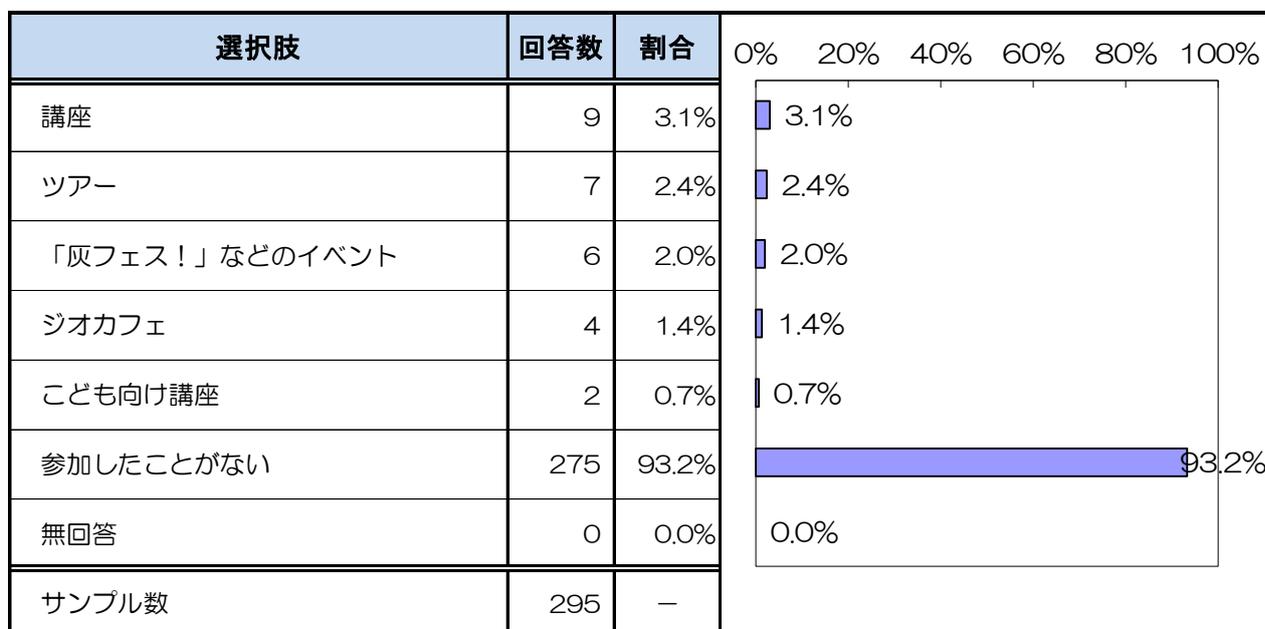
「少し興味がある」が58.0%と最も高く、次いで、「あまり興味がない」の26.1%、「大変興味がある」の10.2%の順となっています。



問7 「桜島・錦江湾ジオパーク」に関連するイベント、ツアー、講座、セミナーなどに参加したことがありますか。(複数回答)

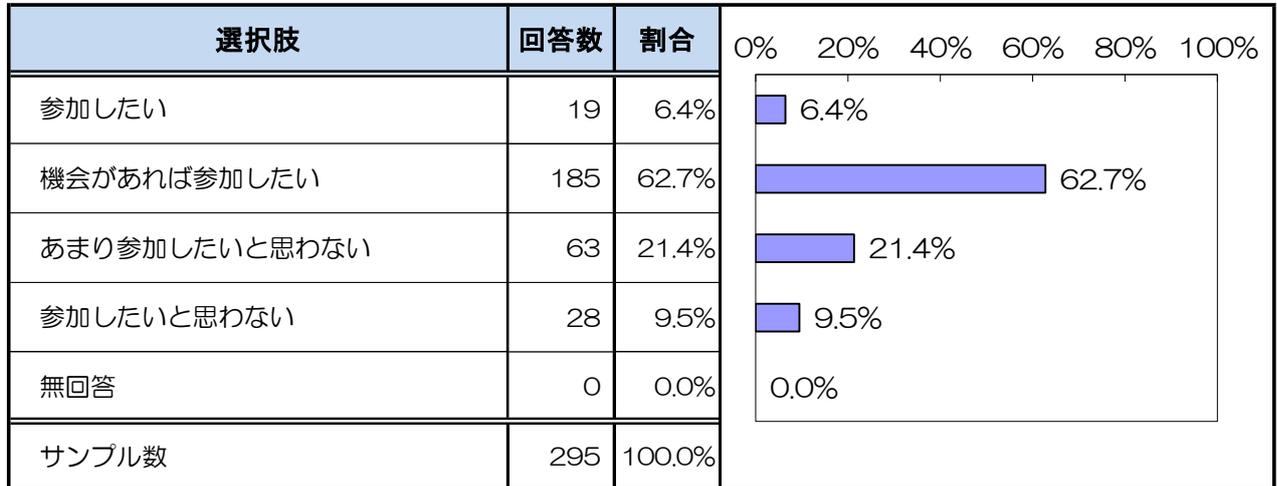
「参加したことがない」が93.2%を占めています。

具体的な参加したイベント等については、「講座」が3.1%と最も高く、次いで、「ツアー」の2.4%、「灰フェス！」などのイベント」の2.0%の順となっています。



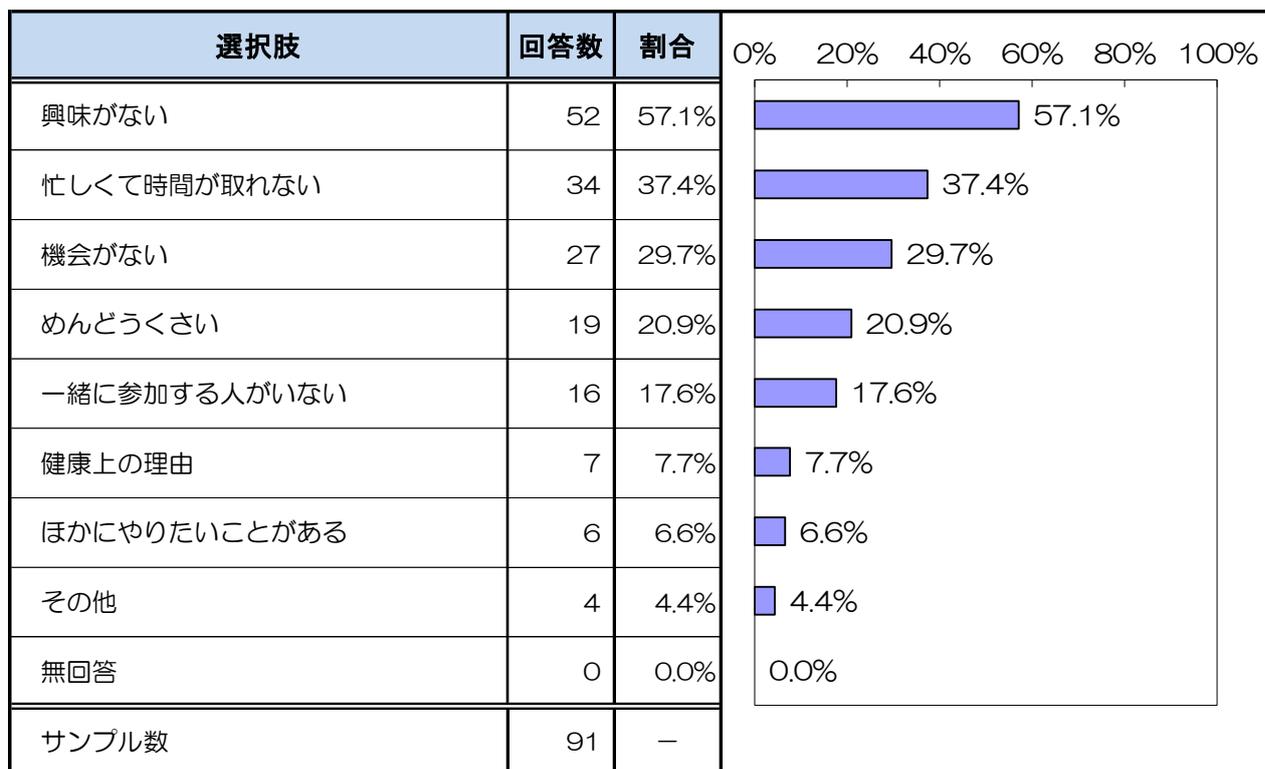
問8 「桜島・錦江湾ジオパーク」に関連するイベント、ツアー、講座、セミナーなどに参加したいと思いますか。(単一回答)

「機会があれば参加したい」が62.7%と最も高く、次いで、「あまり参加したいと思わない」の21.4%、「参加したいと思わない」の9.5%の順となっています。



問9 問8で「3. あまり参加したいと思わない」、「4. 参加したいと思わない」と答えた方にお伺いします。参加したくないのはなぜですか。
(複数回答)

「興味がない」が 57.1%と最も高く、次いで、「忙しくて時間が取れない」の 37.4%、「機会がない」の 29.7%の順となっています。

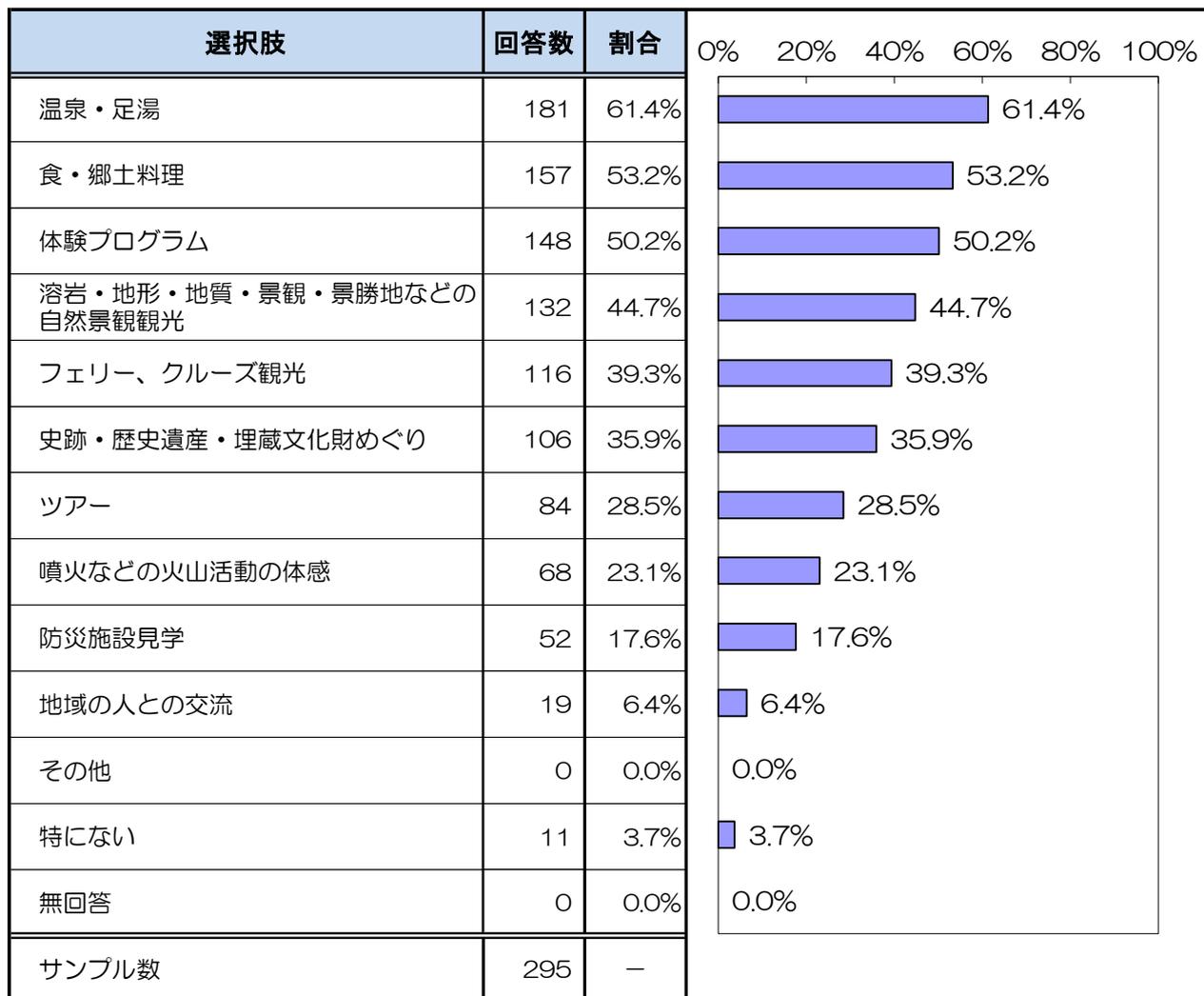


◆その他の回答（一部抜粋・原文まま）

- ・何を学べる、体験できるのかよくわからない。名前を知ってるだけから、もう一步踏み込んだ状態に進まない。知らなさすぎて自分で調べようとするところまでいっていない。

問 10 「桜島・錦江湾ジオパーク」で体験したい、楽しみたいことは何ですか。(複数回答)

「温泉・足湯」が 61.4%と最も高く、次いで、「食・郷土料理」の 53.2%、「体験プログラム」の 50.2%の順となっています。



問 11 「桜島・錦江湾ジオパーク」について、どのようなことでも構いませんので、自由にご記入ください。

◆回答一覧（一部抜粋・原文まま）

回答内容	性別	年代	地域
あまり、県民にも浸透されてない活動拠点のような気がします。興味をそそられないのは何故だろう？観光客が訪れるくらいなのは？鹿児島 の観光地アピールが古いイメージでもっと若い人が訪れたいくなる明るく インスタ映えするアピールが必要なのでは？その為にもこう言う役所の 関係各所に若い世代を起用し、時代にあった宣伝の仕方を考えるといい のでは？	女	40 歳代	吉田
言葉はたまに聞くが具体的にジオパークって何？と疑問に思うが調べた りするまでに至らない。ジオパークの意味が浸透するなりどういう重み があるのかなどがないと只の名前でしかないと思う。	男	40 歳代	伊敷
活火山の桜島とイルカも見れる錦江湾の自然資源を市民で保持し、世界 ジオパークの早期認定を目指し、ガイドツアーやイベントを民間と行政 で実施していくよう期待したいです。	男	70 歳以上	伊敷

Ⅲ 食育について

1. 調査の目的

本市では、第三次かごしま市食育推進計画に基づき、「食を通じて健康で、生き生きと生活できる活力あるかごしま市の実現」を基本理念に、食育に関する施策を総合的かつ計画的に推進しています。今年度は、この計画が令和3年度末に終了することから、現計画の最終評価及び次期計画策定を進めているところです。

そこで、次期計画の基礎資料とするためのアンケート調査を実施させていただきますので、ご協力よろしくお願いいたします。

2. 調査結果を受けての担当課（保健政策課）からのコメント

「食育」について、関心がある方（「関心がある」「どちらかといえば関心がある」と回答した方）は84.7%、そのうち「食生活・食習慣の改善」「郷土料理、地産地消など」に関心がある方が過半数を超えていました。その一方で、「食事に関するあいさつや作法」「食を通したコミュニケーション」「農林漁業体験」に関心がある方は20%に満たない状況でした。

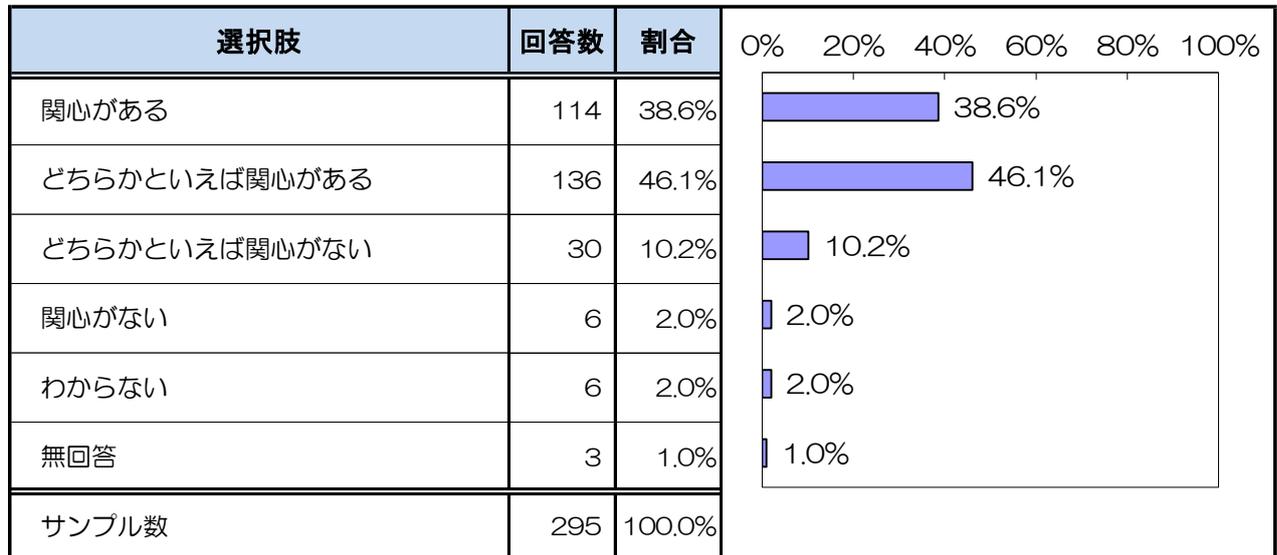
また、「噛む」ことが健康に良いことや肥満の防止になること、「8020 運動」を知っている方は80%を超えていますが、実際に「噛みごたえのある食材」を普段の食事に取り入れている方は34.2%という結果でした。

今回の調査で、食育について関心が低い項目があること、知識はあるが実践までには至っていない方が多いことなどの課題があることが分かりましたので、本市の食育推進計画に基づきより一層食育の推進に取り組んでまいります。

3. 調査結果

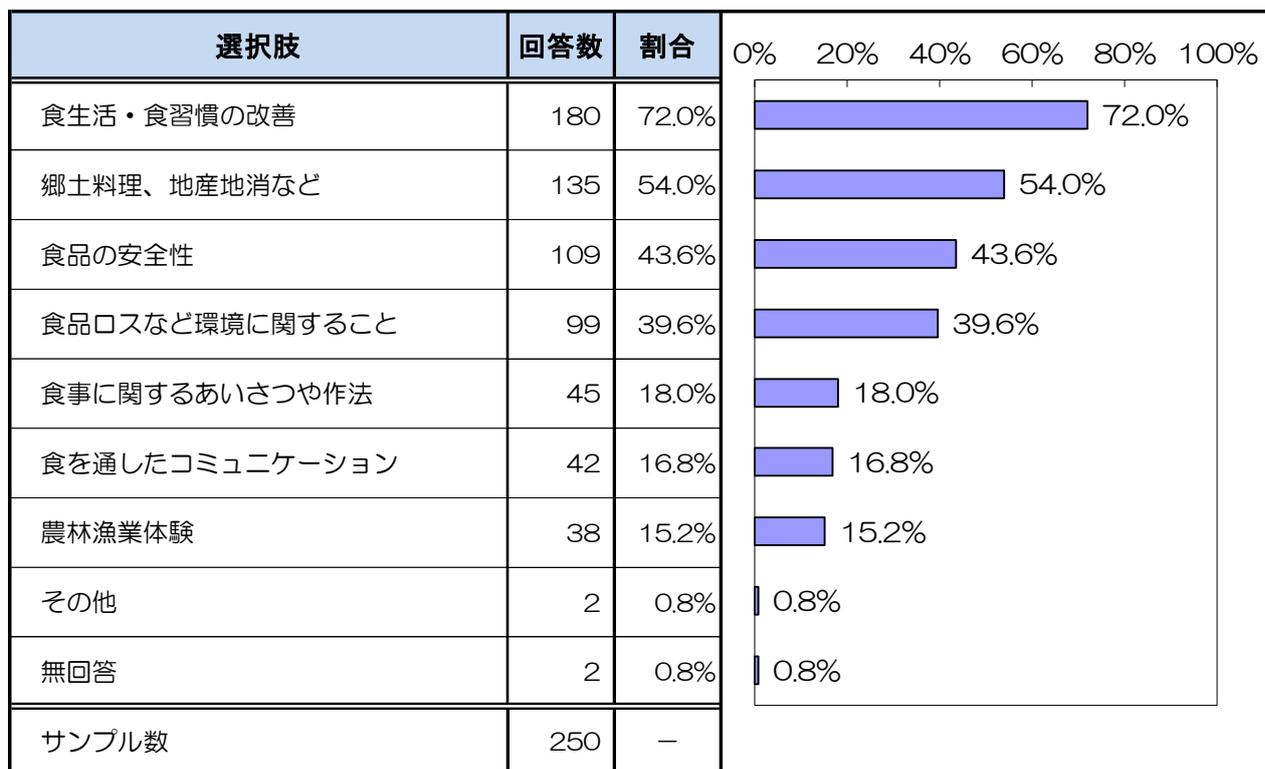
問12 「食育」に関心がありますか。(単一回答)

「どちらかといえば関心がある」が46.1%と最も高く、次いで、「関心がある」の38.6%、「どちらかといえば関心がない」の10.2%の順となっています。



問 13 問12で「1. 関心がある」、「2. どちらかといえば関心がある」を選んだ方にお聞きします。「食育」のどのような事について、関心がありますか。(3つまで)

「食生活・食習慣の改善」が72.0%と最も高く、次いで、「郷土料理、地産地消など」の54.0%、「食品の安全性」の43.6%の順となっています。



問 14 「歯科」と「食育」が関係していることを知っていますか。(単一回答)

「知っている」が54.6%、「知らない」が44.1%となっています。



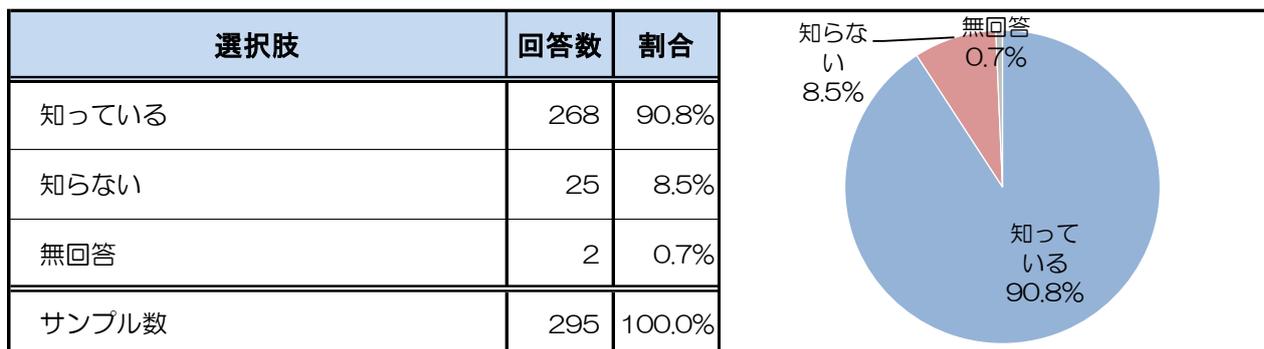
問 15 「よく噛んで食べることが健康に良いこと」を知っていますか。(単一回答)

「知っている」が98.0%、「知らない」が1.4%となっています。



問 16 「よく噛んで食べることが肥満の防止になること」を知っていますか。(単一回答)

「知っている」が90.8%、「知らない」が8.5%となっています。



問 17 「噛みごたえのある食材」を普段の食事に取り入れることを意識していますか。(単一回答)

「している」が34.2%、「していない」が65.1%となっています。



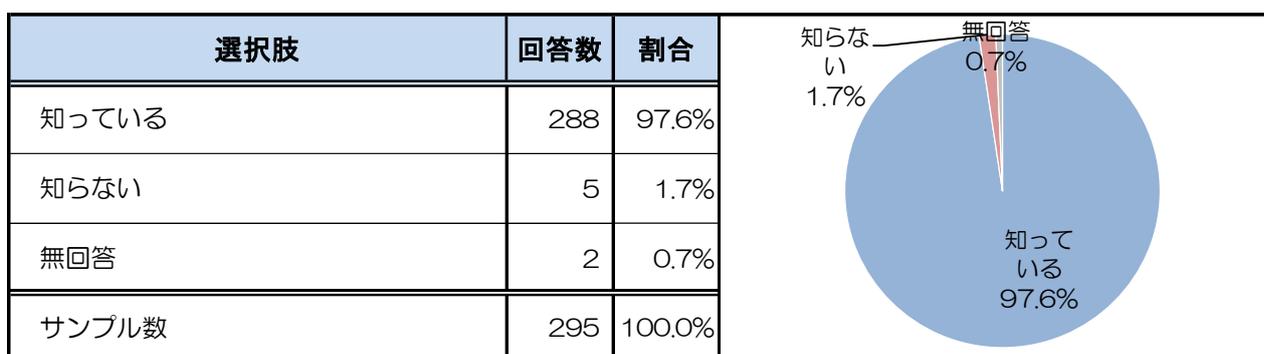
問 18 「8020 運動」を知っていますか。(単一回答)

「知っている」が81.0%、「知らない」が18.3%となっています。



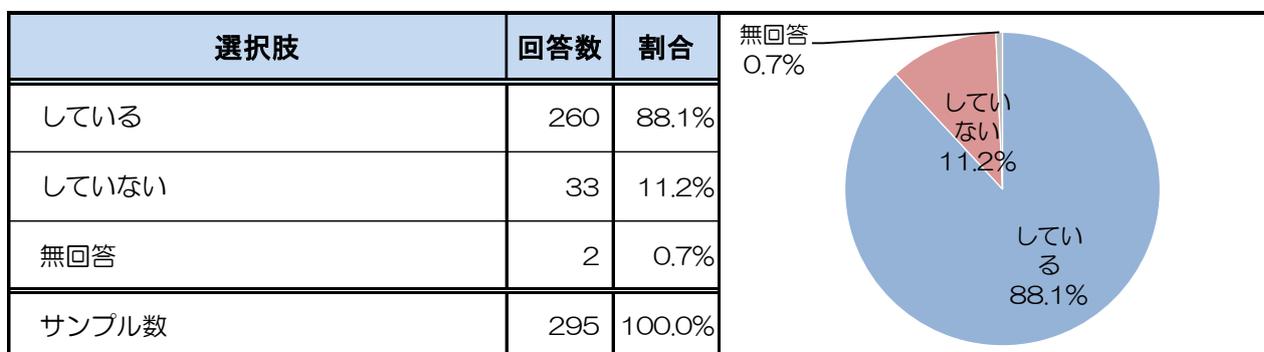
問 19 「食品ロス」という問題を知っていますか。(単一回答)

「知っている」が97.6%、「知らない」が1.7%となっています。



問 20 「食品ロス」という問題を解決するための取組を何かしていますか。
(単一回答)

「している」が88.1%、「していない」が11.2%となっている。



問 21 本市の食育推進に期待することについて、どのようなことでも構いませんので、自由にご記入ください。

◆回答一覧（一部抜粋・原文まま）

回答内容	性別	年代	地域
子どもには学校でよく言われているが、大人の食育はされていないように思う。大人をもっと意識させる動きが必要かと思う。	男	29歳以下	中央
食育に関するイベントが周りで開催されている事を聞いた事があまり無い。そのため、増やして欲しい。	女	30歳代	谷山
食育推進を、どのような形で進めているのか？分からないので(知らない)先ずは、そこから大々的にアピールして下さいませんか？	男	29歳以下	中央
地産地消を推進し、鹿児島県の食文化の向上と食に関する知識を深める為に地産品を使ったレシピや講座を解説してほしい。	女	30歳代	谷山
鹿児島の郷土料理を積極的に推進すれば食育推進に繋がると思います。	男	29歳以下	中央
子供達に命の尊さを教え、感謝して食べることを教えて欲しいです。	女	30歳代	谷山
幼児期から教育で食べ物のありがたさを教えてほしい。	男	29歳以下	中央
幼少期から地域社会一丸となって食育について考える機会が多くある市政を望む。	男	29歳以下	中央
今話題になっている食品ロスについては会社のみならず行政も協力して取り組んで貰いたいと考えます。	女	30歳代	谷山
食品ロス対策、食品表示の適正化、消費税込み価格表示の徹底を進めていただきたい。	男	29歳以下	中央
食事の大切さを子どもの頃から学べ、実践できるようになるといいと思います。	女	30歳代	谷山
いままで以上に地元産の食材、食べ物を大切にしていければと思います	男	29歳以下	中央